

青森県学校保健推進計画

(第4次)

令和6年〇月

青森県教育委員会

目次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	
2 計画策定の基本的な考え方	
3 計画の期間	
4 実施状況の評価	
第2章 児童生徒の健康の現状と課題	2
1 児童生徒を取り巻く社会状況	
2 本県児童生徒の健康の現状	
(1) 体格、疾病・異常の状況	
(2) 運動、体力の状況	
(3) 歯科保健の状況	
(4) 喫煙・飲酒の状況	
(5) 心の健康の状況	
3 学校保健推進の課題	
(1) 児童生徒の健康に関する資質・能力の育成	
(2) 学校保健の活性化	
(3) 学校、家庭、地域社会が連携した取組	
第3章 計画の推進	7
1 実施主体別に期待される主な役割	7
(1) 青森県教育委員会	
(2) 市町村教育委員会	
(3) 学校	
(4) 家庭	
(5) P T A	
(6) 学校保健関係団体	
(7) 地域社会	
(8) 地域保健関係機関	

2 学校保健推進計画（第4次）に係るロジックモデル・目標項目 と取組.....	9
（1）学校保健推進体制の確立	
（2）望ましい生活習慣定着	
（3）心の健康問題への対応	
（4）性に関する指導	
（5）学校管理下での負傷・疾病対応	
3 学校と地域関係機関・団体等との連携体制の構築	20
4 学校保健推進計画の取組状況の評価	20

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

「青森県学校保健推進計画」は、本県児童生徒の健康課題の解決及び「青森県健康増進計画」で示されている児童生徒に関連する目標の達成に向けて、青森県教育委員会、公立小・中・高等学校、関係機関等の具体的な取組を体系化し、学校、家庭、地域が一体となって学校保健を推進していくことを目的とし平成20年度から策定してきた。

第4次計画は、「青森県学校保健推進計画（第3次）」（計画期間：2019（令和元）年度から2023（令和5）年度まで）の取組状況等について評価するとともに、令和6年3月に策定された「第三次青森県健康増進計画」を踏まえて策定するものである。

2 計画策定の基本的な考え方

児童生徒の心身の健全な発達を促し、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力ある生活を送ることができる資質や能力を育てることは極めて重要である。

このことから、本計画では、本県の児童生徒の健康課題の解決に向け、（1）学校保健推進体制の確立、（2）望ましい生活習慣定着、（3）心の健康問題への対応、（4）性に関する指導、（5）学校管理下での負傷・疾病対応を目標項目とし、アウトプット（対策）とアウトカム（指標）を設定する。

3 計画の期間

計画期間は、令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの6年間とする。

参考）健康日本21（第三次）及び第三次青森県健康増進計画

計画期間 令和6（2024）年度から令和17（2035）年度

4 実施状況の評価

本計画における取組の進捗状況を把握するためにアウトプット（施策）とアウトカム（指標）については、令和8（2026）年度を目途に中間評価を行う予定とし、健康課題の動向や社会の変化等を考慮し、必要に応じて、教育委員会や学校等の取組の見直しを行うものとする。

また、青森県健康福祉部や学校保健関係団体等との新たな事業展開などによる健康づくり施策を総合的に推進するため、事業効果等を踏まえ、必要に応じて施策に反映することとする。

第2章 児童生徒の健康の現状と課題

1 児童生徒を取り巻く社会状況

近年の社会環境や生活様式の急激な変化は、児童生徒の心身に様々な影響を及ぼしており、授業以外の運動時間の減少、積極的に運動する児童生徒とそうでない児童生徒の二極化傾向、食生活の乱れや肥満・痩身傾向、視力低下、大麻や市販薬の乱用、不登校、メンタルヘルスに関する課題等、様々な児童生徒の健康に関する課題が顕在化している。

また、学校安全に関しては、近い将来に発生が懸念されている大規模地震、激甚化・頻発化する豪雨、台風などの計り知れない自然災害のリスクに直面している。さらに、学校における事件・事故、SNSの利用による犯罪など児童生徒の安全を脅かす事案も多く発生している。

2 本県の児童生徒の健康の現状

(1) 体格、疾病・異常の状況

令和4年度「学校保健統計調査*1」によると、本県児童生徒の体格については、身長は男女とも全年齢層で全国平均を上回り、男子は11、13、15、16歳、女子は9歳で全国1位である。体重は男女とも全年齢層で全国平均を上回り、男子は5、8～14、16、17歳、女子は5、7～10、13、14、16歳で全国1位となっており、肥満傾向児の出現率は、男女とも全年齢層で全国平均を上回っている（資料編：表1、3）。

また、令和4年度「青森県学校保健調査*2」によると、本県児童生徒の疾病・異常被患率が高いのは、小学校は「裸眼視力1.0未満の者」及び「う歯」でそれぞれ46.2%と49.0%、中学校及び高等学校は「裸眼視力1.0未満の者」で61.7%と62.1%となっている。次いで高いのは、小学校は「鼻・副鼻腔疾患」で16.4%、中学校及び高等学校は「う歯」で39.2%と47.2%となっている（資料編：表2）。

*1 学校保健統計調査…文部科学省が、全国の児童生徒の発育及び健康状態を明らかにし、学校保健教育行政上の基礎資料を得ることを目的に実施している抽出調査。（資料編：表1、3～5、10～13、図1～3、7～12）

*2 青森県学校保健調査…県教育委員会が、本県の児童生徒の発育及び健康状態を明らかにし、学校保健教育行政上の基礎資料を得ることを目的に実施している悉皆調査。（資料編：表1～5、10～13、図1～3、7～12）

(2) 運動、体力の状況

令和4年度「体格、体力、ライフスタイル調査*3」によると、「運動しない児童生徒」の割合は、男子よりも女子の方が高く、小学校高学年を境に中学校から高等学校にかけて次第に高くなっていく傾向が見られ、特に女子において顕著である（資料編：図5）。年齢別に比較すると、男子では、小学校1学年から3学年、女子では高等学校1学年から3学年にかけて「運動時間30分未満の割合」が高い傾向にあり、運動する機会及び運動時間の確保が大きな課題となっている（資料編：図6）。

令和4年度「新体力テスト*4」によると、の合計点が全国平均値を上回った年齢層は、男女ともに2年齢層（全12年齢層）であった（資料編：表7）。また、体力・運動能力、運動習慣等調査*5と比較すると、各測定項目において全国平均値を上回った年齢層は、男子は19年齢層（全102年齢層）、女子は30年齢層（全102年齢層）であり、多くの年齢層で全国平均を下回った（資料編：表8）。

(3) 歯科保健の状況

学校保健統計調査及び青森県学校保健調査によると、本県児童生徒のう歯被患率は、全ての校種において年々減少しているが、全国平均より上回っている（資料編：表10、図7～10）。

また、12歳児永久歯の1人当たりの平均う歯数は前年度と比較して減少しているが、全国平均との差は令和3年度が0.34本、令和4年度が0.29本である（資料編：表12）。

その他、歯肉炎の被患率は、小学校5年生から中学校3年生まで全国平均を上回っている（資料編：表13、図12）。

*3 体格、体力、ライフスタイル調査…県教育委員会が、本県の公立学校の児童生徒の健康、体力、運動習慣や生活習慣の現状を把握するために実施している悉皆調査。（資料編：図5、6）

*4 新体力テスト…体力・運動能力調査の実技に関する調査。（資料編：表6～8）

【テスト項目】

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走又は20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ボール投げ（小学校：ソフトボール投げ、中学校：ハンドボール投げ）

【各測定項目別の年齢層】

6歳から11歳（6歳×8項目）＝48年齢層 ・ 12歳から17歳（6歳×9項目）＝54年齢層
男女ともに102年齢層（48年齢層＋54年齢層＝102）ある。

*5 体力・運動能力、運動習慣等調査…スポーツ庁が、全国の児童生徒の体力・運動能力の現状を把握するために実施している抽出調査。実技に関する調査と質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）からなる。（資料編：図4）

(4) 喫煙・飲酒の状況

令和元年度「公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査」によると、喫煙経験者*6の割合は、小学5年生で2.2%、中学1年生で1.3%、中学3年生で2.4%、高校3年生で3.2%となっており、全ての学年において、男子の方が女子よりも高率となっている。喫煙習慣者の割合は、小学5年生で0.1%、中学1年生で0.1%、中学3年生で0.3%、高校3年生は0.8%となっており、小学5年生を除く全ての学年で、男子の方が女子よりも高くなっている。喫煙経験者の状況を平成27年度調査と比較すると、小学5年生を除く全ての学年で減少していた。

飲酒経験者*7の割合は、小学5年生で19.5%、中学1年生で13.7%、中学3年生で15.5%、高校3年生で19.6%である。飲酒習慣者の割合は、小学5年生で1.5%、中学1年生で0.8%、中学3年生で1.7%、高校3年生で4.6%である。飲酒経験者の割合を男女別に比較すると、全ての学年において、男子が女子より高くなっている。また、飲酒経験者の状況を平成27年度の調査と比較すると、全ての学年で有意に減少している。

(5) 心の健康の状況

青森県内の公立学校における令和4年度のスクールカウンセラーへの延べ相談件数は、小学校で10,960件、中学校で12,467件、県立学校（高等学校・特別支援学校）で、1,295件、スクールソーシャルワーカーへの延べ相談件数は、915件であった。

心の健康については、心は発達すること及び心と体には密接な関係があることについて理解できるようにする必要がある。また、不安や悩みへの対処にはいろいろな方法があることを理解できるようにするとともに、不安や悩みを緩和するための対処の方法を行うことができるようにする必要がある。

なお、不登校については、不安や悩みだけでなく、何らかの心理的、情緒的、身体的又は社会的な要因・背景があるが、令和4年度の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）によると、全国の不登校児童生徒数は前年度より54,108人増加しており、本県においても、小学校は610人で前年度より115人増加、中学校は1,616人で前年度より233人増加している。

* 6 喫煙経験者は、喫煙経験があるが現在は吸っていない児童生徒と、現在も吸っている児童生徒を合わせたものであり、喫煙習慣者は、現在も吸っている児童生徒である。

引用) 令和元年度 公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査結果 (県健康福祉部)

* 7 飲酒経験者は、飲酒経験があるが現在は飲まない児童生徒と現在も飲んでいる児童生徒を合わせたものであり、飲酒習慣者は、現在も時々飲んでいる児童生徒である。

引用) 令和元年度 公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査結果 (県健康福祉部)

3 学校保健推進の課題

(1) 児童生徒の健康に関する資質・能力の育成

児童生徒が生涯を通じて健康な生活や健全な食生活を送ることができるよう、必要な情報を収集し、適切な意思決定や行動選択を行うことができる力を一人一人に育むため、学校における保健教育を推進することが重要である。

なお、中央教育審議会*8答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（平成28年12月）」では、現代的な諸課題に対応して求められる健康・安全・食に関する資質・能力について次のとおり示されている。

(知識・技能)

様々な健康課題、自然災害や事件・事故等の危険性、健康・安全で安心な社会づくりの意義を理解し、健康で安全な生活や健全な食生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けていること。

(思考力・判断力・表現力等)

自らの健康や食、安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、健康で安全な生活や健全な食生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力を身に付けていること。

(学びに向かう力・人間性等)

健康や食、安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に、自他の健康で安全な生活や健全な食生活を実現しようとしたり、健康・安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度を身に付けていること。

* 8 中央教育審議会：文部科学省に置かれた審議会。教育・学術・文化に関する基本的重要施策につき調査・審議し、また建議する。

(2) 学校保健の活性化

学校保健活動が円滑に進められ、成果を上げるためには、教職員が役割を分担して活動を組織的に推進することができるよう協力体制を確立するとともに、家庭や地域の関係機関と連携するための学校保健に関する組織活動の充実が大切である。

学校保健に関する組織活動の1つである学校保健委員会*⁹は、学校における健康に関する課題を研究・協議し、健康づくりを推進する組織である。したがって、様々な健康課題に対処するため、家庭、地域等の教育力を充実させる観点から、学校と家庭、地域を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させることが大切である。学校保健委員会が、学校保健活動の中心として機能するだけでなく、学校、家庭、地域の関係機関の連携による効果的な保健活動につながるよう、その活性化を図っていくことが必要である。

(3) 学校、家庭、地域社会が連携した取組

児童生徒が生涯を通じた健康づくりを推進していくためには、家庭との連携を図ることが重要である。

さらに、児童生徒の現代的な健康課題に適切に対応するためには、学校や家庭を中心に、学校の設置者である地方公共団体や地域の関係機関を含めた地域レベルの連携が必要である。その他、地域にある異校種間の連携を進めることにより、それらの健康情報や資料を継続し、積み上げ、それぞれの指導に生かすことが重要である。

* 9 学校保健委員会は、校長、教頭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係者の代表などを主な委員とし、保健主事が中心となって運営することとされている。

第3章 計画の推進

1 実施主体別に期待される主な役割

(1) 青森県教育委員会

児童生徒の健康づくりを推進するため、各学校が組織的・計画的に取り組むことができるよう、健康教育実践研究校*10の取組成果を広く周知するとともに、各種事業に取り組む。

また、青森県学校保健調査や体格、体力、ライフスタイル調査など多岐にわたるデータを収集及び分析し、学校や市町村教育委員会の健康づくりの取組に役立つ情報として広く発信していくとともに、県保健関係部局をはじめ、地域の関係機関・団体との連携を密にし、学校保健活動への理解と協力を求めていく。

(2) 市町村教育委員会

管内の児童生徒の健康づくりのため、県教育委員会や地域の関係機関・団体と連携し、地域の実情を踏まえ、教育委員会としての学校保健に関する体制の充実が望まれている。

(3) 学校

児童生徒が健康について関心を持ち、健康に関する正しい知識を身に付け、生涯にわたる健康の基礎づくりに向けた健康的な生活習慣を確立するため、児童生徒が自ら健康な生活を実践する能力や態度を育てる健康教育を一層推進し、学校における健康づくりの組織的・計画的な取組等を積極的に実践していく必要がある。また、健康づくりの推進においては、学校、家庭、地域社会の連携の核となる学校保健委員会の設置及びその活性化を図ることが重要である。

さらに、地域にある幼稚園や小・中・高等学校及び特別支援学校の学校保健委員会が連携して、地域の子どもたちの健康課題についての協議などを行うための組織である「地域学校保健委員会*11」の設置も有効である。

その他、健康課題に関する児童生徒の支援に当たっては、家庭の理解と協力を得ることが不可欠なため、日頃から家庭に対する啓発活動を行うなど、家庭との信頼関係の構築に絶えず努めることが必要である。

*10 健康教育実践研究校は、青森県教育委員会が指定した幼稚園等2園、小学校3校、中学校3校、県立高等学校2校、特別支援学校1校であり、2年間にわたり幼児児童生徒の健康課題解決のため、発達の段階に応じた具体的な指導内容、指導方法について研究を行う。

*11 地域学校保健委員会は、地域にある学校等の学校保健委員会が連携して組織される。平成9年9月22日の保健体育審議会答申「生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興のあり方について」で、設置の促進について提言された。

(4) 家庭

児童生徒の健康づくりの基本は家庭であり、食生活や生活習慣の基盤は、家庭において確立される。学校での児童生徒の健康づくりへの取組をより効果的に推進していくためには、保護者の学校保健活動への参画が不可欠であり、学校と家庭が連携し取組を推進していくことが実効性のある健康づくりにつながる。また、家庭では、学校で学習した内容を深め、児童生徒に習慣付けていくことが求められている。

(5) P T A

P T Aは学校と家庭の連携を図る上で重要な組織である。P T A保健部等と校内組織の合同部会の開催、P T A広報誌等への学校保健活動や健康づくりに関する内容の掲載、P T A活動の一環として健康に関する講演会の開催などの取組が求められている。

(6) 学校保健関係団体

学校保健に関係する主な団体として、青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県学校薬剤師会があり、定期健康診断や学校環境衛生等において、専門的な立場から児童生徒の健康づくりに関わっている。学校保健計画や学校安全計画、食に関する指導の全体計画作成への参画や、児童生徒への保健指導や健康相談、学校保健委員会等において指導・助言を行うなど、学校の健康づくりの取組に深く関わることを望まれる。また、児童生徒の健康の保持増進と学校における健康教育の円滑な推進に寄与している青森県学校保健会、青森県学校給食会などの団体も、教育委員会や学校とより一層の連携を図っていくことが望まれる。

(7) 地域社会

児童生徒の健康づくりの推進に当たり、学校と家庭との連携はもとより、児童生徒に関わりのある地域の人々とも共通理解を図り、目標に向かった組織的な活動を行うことが必要である。とりわけ、最近の学校を取り巻く社会環境を考慮すると、児童生徒の安全の確保及び事故防止を図るためには、学校と地域社会が連携、協働できるような体制を構築し、それぞれの責任と役割を分担した取組が必要である。

(8) 地域保健関係機関

生涯を通じた健康づくりの観点から、地域保健関係機関（県や市町村の保健部局や保健所等）では地域の特性を踏まえた取組を実施することが重要であり、教育委員会等とも組織的に連携して対応していくことが望まれる。

2 学校保健推進計画（第4次）に係るロジックモデル(目標及び取組内容)

アウトプット（対策）	アウトカム（指標）
(1) 学校保健推進体制の確立	(1) 学校保健推進体制の確立
項目	項目
1 学校保健委員会の開催率	1 肥満傾向児出現率（肥満度20%以上の者）の減少
2 食の指導に関する全体計画作成率	2 痩身傾向児出現率（肥満度-20%以下の者）の減少
3 アレルギー疾患に対応する体制の構築率	3 裸眼視力が1.0未満の者の割合の減少
4 (地域) 学校安全委員会の開催率	4 睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少
(2) 望ましい生活習慣定着	(2) 望ましい生活習慣定着
① 体格、栄養・食生活、休養	① 体格、栄養・食生活、休養
項目	項目
5 生活習慣に関する指導の実施率	5 朝食を毎日食べる児童生徒の割合の増加
6 食に関する指導の実施率	6 がん及びがん患者への理解度の向上
7 がん教育の実施率	
② 身体活動・運動	② 身体活動・運動
項目	項目
8 児童生徒の体力・運動能力の向上ための学校全体の目標の設定率	7 1週間の運動時間が60分未満の者の割合の減少
③ 歯科保健	③ 歯科保健
項目	項目
9 歯・口の健康づくりに関する指導の実施率	8 永久歯の一人当たり平均歯等数の減少
	9 う歯被患率の減少
	10 歯肉炎被患率の減少
④ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止	④ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止
項目	項目
10 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施率	11 依存性薬物（物質）の乱用による健康被害の理解度の向上
(3) 心の健康問題への対応	(3) 心の健康問題への対応
項目	項目
11 心の健康教育の実施率	12 「自分には、よいところがあると思う」児童生徒の割合の増加
	13 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い」児童生徒の割合の増加
(4) 性に関する指導	(4) 性に関する指導
項目	項目
12 性に関する指導の実施率	14 エイズに関する知識調査の正答率の増加
	15 性感染症に関する知識調査の正答率の増加
(5) 学校管理下での負傷・疾病対応	(5) 学校管理下での負傷・疾病対応
項目	項目
13 アレルギー疾患に関する研修会の実施率	16 学校管理下における負傷の発生率の減少
14 AEDを使用した心肺蘇生実技講習の実施率	17 熱中症事故の件数の減少

(1) 学校保健推進体制の確立

アウトプット (対策)	区 分	策定時	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
1 学校保健委員会の開催	小学校	88.7%	} 100%
	中学校	80.9%	
	高等学校	98.1%	
	特別支援学校	80.0%	
2 食の指導に関する全体計画作成	小学校	100%	} 100%
	中学校	100%	
	高等学校	85.3%	
	特別支援学校	90.0%	
3 アレルギー疾患に対応する体制の構築	小学校	96.0%	100%
	中学校	95.2%	100%
	高等学校	52.5%	100%
	特別支援学校	70.0%	100%
4 (地域) 学校安全委員会の開催	小学校	96.1%	100%
	中学校	98.0%	100%
	高等学校	98.5%	100%
	特別支援学校	55.0%	80.0%

【補足】◇アレルギー疾患に対応する体制

「アレルギー疾患対応委員会」等、校内の児童生徒のアレルギー疾患に関する情報を把握し、日常の取組と事故予防、緊急時の対応について協議し情報を共有する体制

◇(地域)学校安全委員会 子どもの安全に係わることなどを協議する組織

(組織の構成例：学校、市町村教育委員会、警察、PTA、自治会、町内会等)

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> 学校保健関係者等へ青森県学校保健推進計画（第4次）を周知し、学校保健の推進を図る。 学校保健推進に向けた体制づくりのため、学校保健委員会及び(地域)学校安全委員会の活性化の取組を支援するとともに、全教職員による健康課題の共通理解及び健康課題解決のための協働の促進を図る。 食の指導に関する全体計画の作成について指導し、学校における食育の推進を図る。 アレルギー疾患対応委員会等の設置を推進し、アレルギー疾患への校内体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康課題の把握と取組の検討 学校保健計画、学校安全計画の作成、見直し 学校保健委員会及び(地域)学校安全委員会の開催及び活性化 食の指導に関する全体計画の作成 アレルギー疾患対応委員会等の設置 アレルギー疾患に対する基本的方針策定
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> 各計画作成への参画 学校保健活動への理解と協力 学校保健委員会及び(地域)学校安全委員会への積極的な参加

(2) 望ましい生活習慣定着

① 体格、栄養・食生活

アウトプット (対策)	区 分	現状値	
		2022年度 (令和4年度)	目標値 2029年度
5 生活習慣に関する指導の実施	小 学 校	58.0%	70.0%
	中 学 校	49.7%	70.0%
	高 等 学 校	24.6%	50.0%
	特別支援学校	76.5%	85.0%
6 食に関する指導の実施	小 学 校	100%	100%
	中 学 校	97.3%	100%
	高 等 学 校	70.5%	85.0%
	特別支援学校	93.8%	100%
7 がん教育の実施(*)	小 学 校	62.0%	80.0%
	中 学 校	14.2%	30.0%
	高 等 学 校	12.5%	30.0%

*中学校・高等学校においては、保健体育科「保健分野」及び「科目保健」での実施を除く割合
注) 特別支援学校の現状値及び目標値は、学部(小学部・中学部・高等部)毎に集計したものです。

アウトカム (指標)	区 分	現状値		目標値 2029年度	参考 第三次 青森県健康増進計画 の目標値など
		2022年度 (令和4年度)			
1 肥満傾向児出現率(肥満度20%以上の者の減少)	小 学 校	15.1%		} 10.0% 以下	10.0% 以下
	中 学 校	14.6%			
	高 等 学 校	14.3%			
2 痩身傾向児出現率(肥満度-20%以下の者の減少)	小 学 校	1.3%		} 1.0% 以下	1.0% 以下
	中 学 校	2.4%			
	高 等 学 校	2.9%			
3 裸眼視力が1.0未満の者の割合の減少	小 学 校	48.7%		40.0%	全国R4 37.88%
	中 学 校	70.0%		60.0%	61.23%
	高 等 学 校	72.7%		70.0%	71.56%
4 睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少	小 学 校	男子	女子	4.0%	全国R4 小5
		6.2%	5.4%		
		13.4%	18.2%		
高 等 学 校	23.8%	31.3%	20.0%	中2 男8.6%、女12.6%	

5 朝食を毎日食べる児童生徒の割合の増加	小学校1学年	男子 93.4%	女子 94.4%	} 95.0% 以上	
	小学校6学年	84.8%	83.0%		
	中学校3学年	81.8%	79.5%		
	高等学校3学年	77.5%	78.5%		
6 がん及びがん患者への理解度の向上	小学校	77.4%		90.0%	
	中学校	83.6%		95.0%	
	高等学校	91.1%		100%	

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> 青森県学校保健調査、体格、体力、ライフスタイル調査等を通じて、児童生徒の健康状態等を把握し、学校における健康教育の指導の充実を図る。 青森県学校保健・安全・給食研究大会を開催し、健康課題について研究協議を行い、健康教育の一層の充実を図る。 肥満及び痩身傾向児出現率の低下を目指し、食事・運動・休養（睡眠）等の基本的な生活習慣定着に向けた取組を支援する。 健康福祉部と連携し、子どもの健康づくりを推進する。 がん教育指導資料を随時見直しするとともに、がん教育指導計画例の活用を図ることにより、がん教育の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教育に関する年間指導計画の作成と実施 家庭と連携した取組の推進と家庭への積極的な情報発信等の啓発活動 健康教育に係る教職員研修の充実 食育の推進・食に関する指導の充実 がん教育の実施 学校医との連携 地域保健・専門家との連携 学校保健委員会等を活用した地域に対する啓発活動等
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> 青森県学校保健会による「生活習慣病予防プログラム」の作成 第三次青森県健康増進計画 領域2 生活習慣の改善 （1）栄養・食生活、 （2）身体活動・運動 （6）休養（睡眠） 領域3 生活習慣病の発症予防と重症化予防 （1）がん

②身体活動・運動

アウトプット (対策)	区 分	現状値 2022年度 (令和4年度)	目標値 2029年度
8 児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標の設定	小学校 中学校 高等学校	100% 100% 100%	100%

アウトカム (指標)	区 分	現状値 2022年度 (令和4年度)	目標値 2029年度	参考 第三次 青森県健康増進計画 の目標値など
7 1週間の運動時間が60分未満の者の割合の減少 (学校の体育の授業を除く)	小学校5学年 中学校2学年	男子 7.6% 女子 12.6% 男子 6.8% 女子 17.3%	減少	※全国平均(R4) 小5男子 8.8% 女子 14.6% 中2男子 8.1% 女子 18.1%

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・体格、体力、ライフスタイル調査等を通じて児童生徒の現状を把握し、学校における体力向上の指導の充実を図る。 ・学校における体力づくりの体制整備のため、各学校の体力の課題等に応じた体力向上計画の策定を推進する。 ・講習会等の実施による発達の段階を踏まえた体力向上の実践的な指導法の普及を通じて、児童生徒が自ら進んで運動できる環境づくりを支援する。 ・体育と食育の授業づくりに関する研修会を実施し、教員の指導力向上を図る。 ・児童生徒の体力・健康づくりに向けて、関係団体との連携を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の作成と実施 ・家庭と連携した取組の推進と家庭への積極的な情報発信等の啓発活動 ・教職員研修の充実 ・学校医との連携 ・地域保健・専門家との連携 ・地域に対する啓発活動等
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次青森県健康増進計画 領域2 生活習慣の改善 (2) 身体活動・運動 ・健康福祉部(共同事業) 「県民の未来の健康基盤づくり事業」

③ 歯科保健

アウトプット (対策)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
9 歯・口の健康 づくりに関する 指導の実施	小 学 校	91.1%	100%
	中 学 校	52.4%	70.0%
	高 等 学 校	23.0%	35.0%
	特別支援学校	66.7%	80.0%

注) 特別支援学校の現状値及び目標値は、学部（小学部・中学部・高等部）毎に集計したものです。

アウトカム (指標)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
8 永久歯の一人当たり 平均う歯等数の減少	12歳児	0.87本	0.6本
9 う歯被患率の減少	小 学 校	49.0%	40.0%
	中 学 校	39.2%	30.0%
	高 等 学 校	47.2%	40.0%
10 歯肉炎被患率の減少	小 学 校	1.5%	1.0%
	中 学 校	3.5%	3.0%
	高 等 学 校	4.6%	4.0%

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> 日本学校歯科医学会主催の「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」推進学校（地域）取組を支援し、学校歯科保健教育の充実を図る。 健康教育実践研究校を指定し、歯と口に関する健康教育の在り方、進め方、課題解決の具体的な指導内容や指導方法について研究を行い、取組を他の学校へ波及させることで、学校歯科保健教育の推進を図る。 青森県学校歯科保健研究大会及び学校歯科保健優良校等の表彰を行う等、関係団体と連携した学校歯科保健活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の作成と実施 家庭と連携した取組の推進と家庭への積極的な情報発信等の啓発活動 学校歯科医との連携
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> 県歯科医師会・健康福祉部 フッ化物洗口推進 第三次青森県健康増進計画 領域2 生活習慣の改善 (3) 歯・口腔の健康

④ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止

アウトプット (対策)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
10 喫煙・飲酒・薬物 乱用防止教室の 実施	小 学 校	49.0%	80.0%
	中 学 校	85.7%	100%
	高 等 学 校	100%	100%
	特別支援学校	— (*)	60.0%
		(参考R3 39.6%)	

注) 特別支援学校の現状値及び目標値は、学部（小学部・中等部・高等部）毎に集計したものです。

*R4は、特別支援学校の調査を実施しなかったため、R3の現状値を基に目標値を設定

アウトカム (指標)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
11 依存性薬物(物質)の乱用による健康被害の理解度の向上	中 学 校	79.9%	95.0%
	高 等 学 校	79.3%	95.0%

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> 国の「第六次薬物乱用防止五か年戦略」及び青森県薬物乱用防止対策実施要綱に基づき、学校における薬物乱用防止教育を一層推進する。 (薬物乱用防止教育研修会等の実施及び研修機会の充実、指導資料「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導参考資料」の活用促進・関係機関・団体との連携の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の作成と実施 (薬物乱用の根絶に向けた規範意識の向上・薬物乱用防止に関する指導の徹底・教育内容の充実) 家庭と連携した取組の推進 教職員研修の充実 学校薬剤師との連携 地域保健・専門家との連携
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> 青森県薬物乱用防止対策実施要綱に基づく対策の推進 薬物相談窓口等の紹介、情報、知識の普及・啓発（教材の貸出、人材派遣等） 第三次青森県健康増進計画 領域2 生活習慣の改善 (4) 喫煙 喫煙が健康に及ぼす影響に関する正しい知識の普及啓発 (5) 飲酒 飲酒に伴うリスクに関する知識の普及

(3) 心の健康問題への対応

アウトプット (対策)	区 分	現状値 2022年度 (令和4年度)	目標値 2029年度
11 心の健康教育の実施	小学校	95.0%	100%
	中学校	80.3%	90.0%
	高等学校	50.8%	70.0%
	特別支援学校	79.2%	90.0%

注) 特別支援学校の現状値及び目標値は、学部(小学部・中学部・高等部)毎に集計したものです。

アウトカム (指標)	区 分	現状値 2022年度 (令和4年度)	目標値 2029年度
12 「自分には、よいところがあると思う」児童生徒の割合の増加	小学校6年	85.7%	100%
	中学校3年	81.8%	
13 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い」児童生徒の割合の増加	小学校6年	80.9%	100%
	中学校3年	87.3%	

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育、健康・安全教育関係調査等により、学校における心の健康教育に係る取組の把握に努めるとともに、心の健康教育の充実を図る。 ・ 健康教育実践研究校の実践の紹介等により、メンタルヘルスの理解と対応に関する学校における取組を支援する。 ・ 事件・事故・災害等の発生時における心のケアの充実を図るための健康相談活動に関する学校における取組を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員間の共通理解と連携 ・ 教職員研修の実施 ・ 校内組織体制の整備 ・ 心のケアに対する対応マニュアルの作成(児童生徒の実態に応じて) ・ 地域保健・専門家との連携 ・ 児童生徒及び家庭への啓発活動
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青森県学校保健会による研修会等の開催 ・ 自殺予防等地域医療情報の提供 ・ 関係機関、窓口としての対応

(4) 性に関する指導

アウトプット (対策)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
12 性に関する 指導の実施	小 学 校	98.0%	100%
	中 学 校	98.0%	100%
	高 等 学 校	93.4%	100%
	特別支援学校	87.5%	95.0%

注) 特別支援学校の現状値及び目標値は、学部(小学部・中学部・高等部)毎に集計したものです。

アウトカム (指標)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
14 エイズに関する知識調査 の正答率の増加	高等学校	75.3%	85.0%
15 性感染症に関する知識調査 の正答率の増加	高等学校	60.8%	85.0%

県教育委員会の取組		学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に則り、児童生徒の発達の段階に応じた適切な性に関する教育が実践されるよう、教職員(管理職等を含む)を対象とした研修会等を実施し、実践的な取組を支援するとともに、理解の推進を図る。 ・県立学校に産婦人科校医を配置し、性に関する正しい知識の普及と理解の促進を図るとともに、学校における講演会や健康相談等の取組を支援する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・性に関する指導の年間指導計画の作成と実施 ・家庭と連携した取組の推進 ・教職員研修の充実 ・学校医との連携 ・地域保健・専門家との連携
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療情報の提供 ・関係機関、窓口としての対応 ・性感染症等の情報の提供 	

(5) 学校管理下での負傷・疾病対応

アウトプット (対策)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
13 アレルギー 疾患に関する 研修会の実施 率	小 学 校	60.0%	70.0%
	中 学 校	65.3%	75.0%
	高 等 学 校	32.8%	50.0%
	特別支援学校	15.0%	45.0%
14 AEDを使用し た心肺蘇生実 技講習の実施 率	小 学 校	26.1%	60.0%
	中 学 校	58.5%	75.0%
	高 等 学 校	72.1%	100%
	特別支援学校	55.0%	95.0%

アウトカム (指標)	区 分	現状値	目標値
		2022年度 (令和4年度)	2029年度
16 学校管理下における 負傷の発生率の減少	小 学 校	3.5%	2.5%
	中 学 校	7.3%	6.0%
	高等学校全日制	5.9%	4.5%
	定時制	2.6%	1.5%
	通信制	0.2%	0.0%
17 熱中症事故の件数の 減少	小 学 校	1件	減少
	中 学 校	10件	
	高等学校	7件	

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員を対象とする研修会（学校安全指導者研修会）を開催し、安全教育や学校の管理体制の充実に向けた取組を推進する。 ・学校体育、健康・安全教育関係調査等により、学校におけるAEDを使用した心肺蘇生法実技講習会の実施状況を把握し、緊急時における校内体制の整備を図る。 ・交通安全教材を配布し、交通安全教育の啓発及び交通安全行動の定着化を図る。 ・交通安全推進地区の指定により、地域全体での交通安全教育を推進する。 ・成長期にある児童生徒の心身の健康管理（スポーツ障害・外傷の予防や文化部活動中の傷害。外傷の予防ア、バランスのとれた学校生活への配慮等）、事故防止を徹底するため、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の指針」の周知を図る。 ・熱中症等傷害予防に関する知識や技術の普及に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修の実施 ・学校医との連携 ・学校における緊急時対応体制の整備と見直し ・学校安全計画に基づく安全教育・安全指導の実施 ・安全管理の徹底 ・危機管理対応マニュアルの作成・見直し ・緊急時対応体制の整備と確保 ・事故及びヒヤリハット事例の報告 ・児童生徒及び家庭への啓発活動
<p style="text-align: center;">関係団体等の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県学校保健会による研修会等の開催 ・地域医療情報の提供 ・正しい知識の普及・啓発 ・相談機関、窓口としての対応（指導・助言等） ・地域の安全対策の推進 ・地域の安全に関する情報の提供 ・正しい知識の普及・啓発（成長発達期のスポーツ傷害の予防等）

3 学校と地域関係機関・団体等との連携体制の構築

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> 学校保健、学校における食育及び学校安全を総合的に推進し健康教育の充実を図るため、学校、家庭、地域社会の連携体制の整備を図る。 (地域関係機関・団体) 県医師会、県歯科医師会、県学校薬剤師会、県学校給食会、県学校保健会、県健康福祉部、県警察本部、県PTA連合会等との連携、大学、その他関係団体	<ul style="list-style-type: none"> 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携 地域の行政、医療、保健、福祉、警察等関係機関に関する情報収集と関係づくり 教職員間の共通理解
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換の場の設定 相談、対応窓口の紹介

4 学校保健推進計画の取組状況の評価

県教育委員会の取組	学校の取組
<ul style="list-style-type: none"> 学校保健推進に向けた協議会を開催し、地域の実情を踏まえた健康課題の解決に向けた計画を策定するとともに、健康教育のより一層の充実に努める。 取組状況の検証から、取組の重点化を目指した事業を企画・立案する。 学校における取組に関する調査等を実施し、指導及び学校訪問時の指導・助言の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健計画等の実施状況の評価 学校評価の一環としての評価 次年度における健康教育の取組への評価の反映
関係団体等の取組	<ul style="list-style-type: none"> 大人も含めた県及び地域における健康課題への取組評価 各機関、団体での取組の評価

資料編

I 児童生徒の健康の現状

1	性別、年齢別体格の平均値（表1）	1
2	児童生徒の疾病・異常被患率一覧（表2）	2
3	肥満傾向児出現率地区別比較（表3、図1）	3
4	痩身傾向児出現率地区別比較（表4、図2）	4
5	年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合全国・県比較（表5、図3）	5
6	新体力テストの合計点の年度比較（表6）	6
7	新体力テストの合計点の全国・県比較（表7）	6
8	新体力テスト各測定項目における全国平均値を上回った年齢層の数 （表8）	6
9	児童生徒の1週間の総運動時間（表9、図4）	7
10	運動をしない児童生徒の割合（図5）	8
11	運動時間30分未満の児童生徒の割合（図6）	8
12	校種別う歯被患率の年次推移（表10、図7～9）	9
13	う歯被患率（図10）	10
14	う歯被患率地区別比較（表11、図11）	11
15	12歳児永久歯の1人当たり平均う歯等数（表12）	11
16	歯肉炎被患率全国・県比較（表13、図12）	12

II 学校保健推進に関するデータ

1	食に関する指導の状況（表14）	13
2	「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率（表15）	14
3	不登校児童生徒数（表16）	15
4	学校管理下における場合別災害発生状況（表17）	16

III 青森県学校保健推進計画に係るデータの出典

17

I 児童生徒の健康の現状

(表1) 令和4年度 性別・年齢別体格の平均値

※網掛けは全国を上回ったもの

性別	区分	年齢	身長 (cm)		体重 (kg)	
			全国	青森県	全国	青森県
			平均値	平均値	平均値	平均値
男子	小学校	6	117.0	117.5	21.8	22.5
		7	122.9	123.6	24.6	25.6
		8	128.5	129.2	28.0	29.5
		9	133.9	134.9	31.5	33.6
		10	139.7	140.3	35.7	37.4
		11	146.1	147.4	40.0	42.7
	中学校	12	154.0	155.3	45.7	48.2
		13	160.9	162.0	50.6	53.3
		14	165.8	166.6	55.0	57.6
	高等学校	15	168.6	169.2	59.1	61.4
16		169.9	170.5	60.7	63.5	
17		170.7	171.1	62.5	65.7	
女子	小学校	6	116.0	116.7	21.3	22.1
		7	122.0	123.0	24.0	25.0
		8	128.1	128.9	27.3	28.6
		9	134.5	135.8	31.1	32.7
		10	141.4	142.6	35.5	37.3
		11	147.9	148.8	40.5	42.2
	中学校	12	152.2	153.0	44.5	46.2
		13	154.9	155.5	47.7	49.5
		14	156.5	156.8	49.9	51.5
	高等学校	15	157.2	157.7	51.2	52.6
16		157.7	157.9	52.1	53.4	
17		158.0	158.2	52.5	54.0	

(出典) 全国：学校保健統計調査
青森：青森県学校保健調査

(表2) 令和4年度 児童生徒の疾病・異常被患率一覧

校種		小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
区分(%)				
90 以上				
60~90未満			裸眼視力	裸眼視力
50~60				
40~50		裸眼視力、う歯		う歯
30~40			う歯	
20~30				
10~20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患
10 } 1	8~10	その他の歯の疾病・異常		
	6~8			
	4~6	眼の疾病・異常、耳疾患	眼の疾病・異常、歯列・咬合、 その他の歯の疾病・異常	眼の疾病・異常、歯垢の状態、 歯肉の状態
	2~4	栄養状態、脊柱・胸郭、歯列・ 咬合、歯垢の状態	栄養状態、脊柱・胸郭、耳疾 患、心電図異常、蛋白検出、そ の他の疾病・異常、歯垢の状 態、歯肉の状態	耳疾患、心電図異常、蛋白検 出、その他の疾病・異常、歯 列・咬合、その他の歯の疾病・ 異常
1	1~2	アトピー性皮膚炎、心電図異 常、蛋白検出、その他の疾病・ 異常、歯肉の状態		脊柱・胸郭、難聴、アトピー性 皮膚炎
1 } 0.1	0.5 ~ 1	難聴、口腔・咽喉頭疾病、ぜん 息	アトピー性皮膚炎、ぜん息	心臓、ぜん息
	0.1 ~ 0.5	その他の皮膚疾患、心臓、尿糖 検出、腎臓疾患、言語障害、顎 関節	難聴、口腔・咽喉頭疾病、そ の他の皮膚疾患、心臓、尿糖検 出、腎臓疾患、言語障害、顎関 節	栄養状態、口腔・咽喉頭疾病、 その他の皮膚疾患、尿糖検出、 腎臓疾患、言語障害、顎関節
0.1 未満		結核、結核の精密検査の対象者	結核、結核の精密検査の対象者	結核

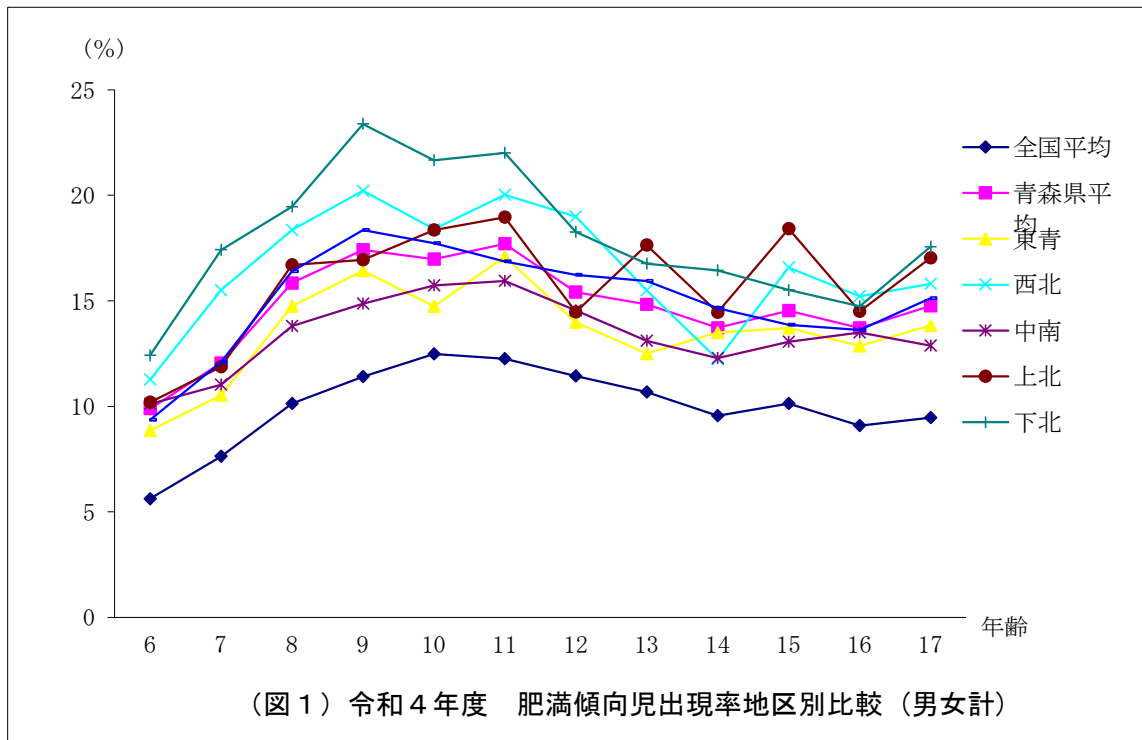
(出典) 青森県学校保健調査

(表3) 令和4年度 肥満傾向児出現率地区別比較 (男女計)

網掛けは県平均を上回った年齢層

(単位：%)

年齢	学年	全国平均	青森県平均	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	5.6	9.9	8.9	11.3	10.1	10.2	12.4	9.4
7	小2	7.6	12.1	10.5	15.5	11.0	11.9	17.4	12.1
8	小3	10.1	15.8	14.7	18.4	13.8	16.7	19.5	16.4
9	小4	11.4	17.4	16.4	20.2	14.9	16.9	23.4	18.4
10	小5	12.5	17.0	14.7	18.4	15.7	18.3	21.7	17.7
11	小6	12.3	17.7	17.1	20.0	15.9	19.0	22.0	16.9
12	中1	11.4	15.4	14.0	19.0	14.5	14.5	18.3	16.2
13	中2	10.7	14.8	12.5	15.5	13.1	17.6	16.8	15.9
14	中3	9.6	13.7	13.5	12.2	12.3	14.5	16.4	14.6
15	高1	10.1	14.5	13.7	16.6	13.1	18.4	15.5	13.9
16	高2	9.1	13.7	12.9	15.2	13.5	14.5	14.7	13.6
17	高3	9.5	14.8	13.8	15.8	12.9	17.0	17.6	15.1



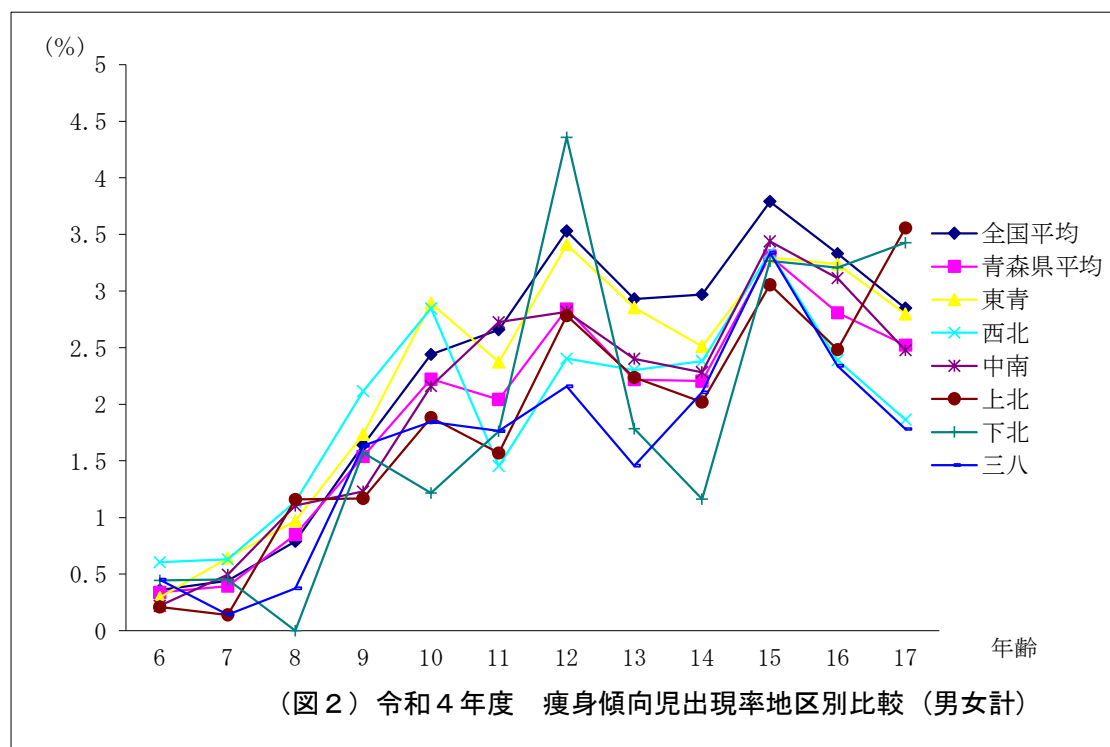
(出典) 全国：学校保健統計調査
青森：青森県学校保健調査

(表4) 令和4年度 痩身傾向児出現率地区別比較 (男女計)

網掛けは県平均を上回った年齢層

(単位：%)

年齢	学年	全国平均	青森県平均	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	0.4	0.3	0.3	0.6	0.2	0.2	0.4	0.5
7	小2	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5	0.1	0.5	0.1
8	小3	0.8	0.8	1.0	1.1	1.1	1.2	0.0	0.4
9	小4	1.6	1.5	1.7	2.1	1.2	1.2	1.6	1.6
10	小5	2.4	2.2	2.9	2.8	2.2	1.9	1.2	1.8
11	小6	2.7	2.0	2.4	1.5	2.7	1.6	1.8	1.8
12	中1	3.5	2.8	3.4	2.4	2.8	2.8	4.4	2.2
13	中2	2.9	2.2	2.9	2.3	2.4	2.2	1.8	1.5
14	中3	3.0	2.2	2.5	2.4	2.3	2.0	1.2	2.1
15	高1	3.8	3.3	3.3	3.3	3.4	3.1	3.3	3.3
16	高2	3.3	2.8	3.2	2.4	3.1	2.5	3.2	2.3
17	高3	2.9	2.5	2.8	1.9	2.5	3.6	3.4	1.8

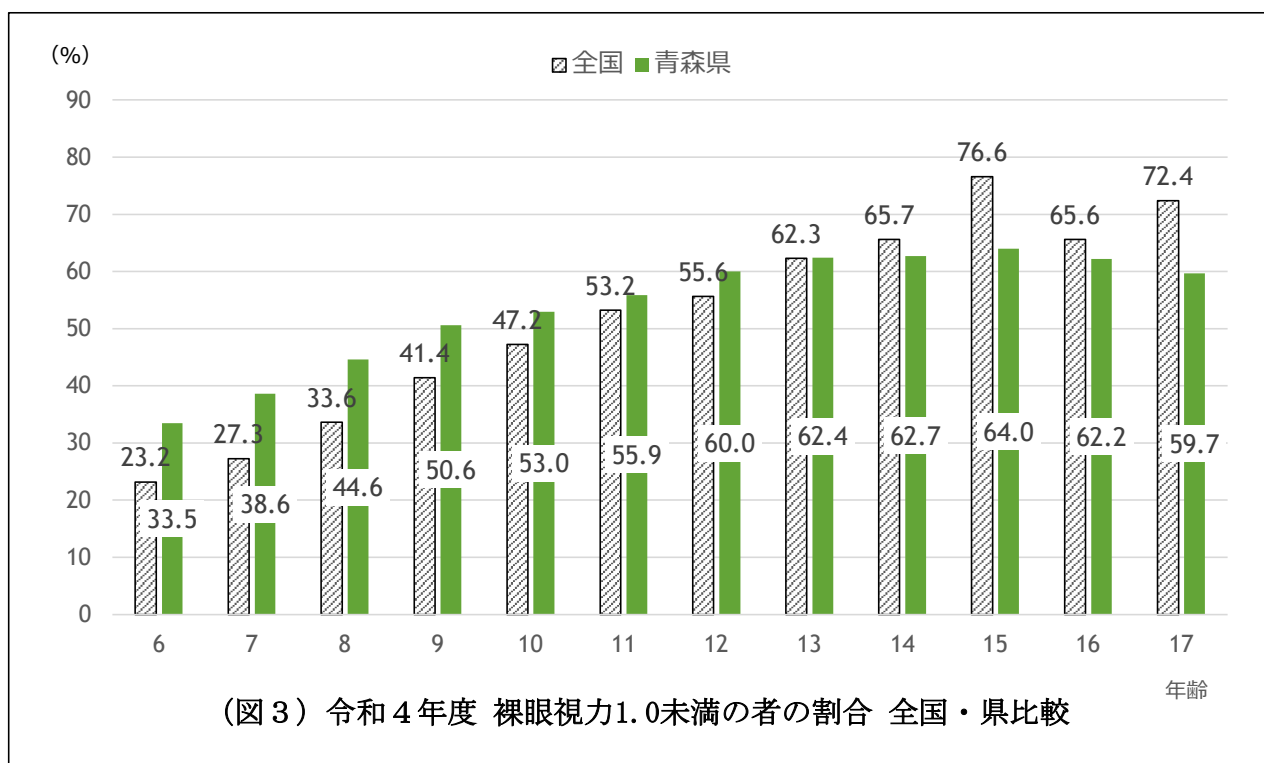


(出典) 全国：学校保健統計調査
青森：青森県学校保健調査

(表5) 令和4年度 年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合 全国・県比較

(単位：%)

年齢		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
国	計	23.2	27.3	33.6	41.4	47.2	53.2	55.6	62.3	65.7	76.6	65.6	72.4
	男	22.5	25.7	30.9	38.4	43.6	48.3	53.3	58.7	64.5	75.4	66.7	70.0
	女	23.9	28.9	36.5	44.6	51.0	58.4	58.1	66.0	66.9	77.7	64.4	74.9
県	計	33.5	38.6	44.6	50.6	53.0	55.9	60.0	62.4	62.7	64.0	62.2	59.7
	男	32.6	37.0	42.5	48.0	49.7	52.0	57.6	60.3	60.8	63.5	61.9	59.7
	女	34.4	40.2	46.9	53.5	56.5	59.9	62.5	64.7	64.7	64.7	62.6	59.7



(図3) 令和4年度 裸眼視力1.0未満の者の割合 全国・県比較

(出典) 全国：学校保健統計調査
青森：青森県学校保健調査

(表6) 新体力テストの合計点の年度比較

※網掛けは3年度の合計点を上回った年齢層(単位:点)

性別	年度	6歳 (小1)	7歳 (小2)	8歳 (小3)	9歳 (小4)	10歳 (小5)	11歳 (小6)	12歳 (中1)	13歳 (中2)	14歳 (中3)	15歳 (高1)	16歳 (高2)	17歳 (高3)
男子	令和3年度	30.38	36.53	42.04	47.08	52.1	58.6	34.39	42.93	50.14	50.3	54.61	56.12
	令和4年度	30.11	36.83	42	46.97	52.19	57.53	33.99	42.3	49.21	50.08	53.77	55.83
女子	令和3年度	31.23	37.86	44.08	49.99	55.6	60.4	43.77	49.35	52.99	51.02	52.7	53.28
	令和4年度	30.73	38.05	43.87	49.85	55.24	59.58	43.01	47.68	51.17	50.65	51.48	52.54

(出典) 体格、体力、ライフスタイル調査

(表7) 令和4年度 新体力テストの合計点の全国・県比較

※網掛けは4年度の全国平均値を上回った年齢層(単位:点)

性別	区分	6歳 (小1)	7歳 (小2)	8歳 (小3)	9歳 (小4)	10歳 (小5)	11歳 (小6)	12歳 (中1)	13歳 (中2)	14歳 (中3)	15歳 (高1)	16歳 (高2)	17歳 (高3)
男子	全国	30.73	37.99	43.41	48.98	55.36	60.26	35.47	44.11	50.55	49.32	53.76	56.51
	県	30.11	36.83	42	46.97	52.19	57.53	33.99	42.3	49.21	50.08	53.77	55.83
女子	全国	30.9	38.04	44.2	50.06	55.65	60.23	44.62	51.04	53.39	49.97	53.06	53.21
	県	30.73	38.05	43.87	49.85	55.24	59.58	43.01	47.68	51.17	50.65	51.48	52.54

(出典) 全国:体力・運動能力調査

青森:体格、体力、ライフスタイル調査

(表8) 令和4年度 新体力テスト各測定項目における全国平均値を上回った年齢層の数
(6歳から17歳までの男女各13年齢層)

性別	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走 (男女各 6年齢層)	20 m シャトル ラン	50 m 走	立ち 幅とび	ボール 投げ	小計	体力 合計点
男子	6	1	5	4	0	2	1	0	0	19	2
女子	6	3	4	7	0	6	1	0	3	30	2

(出典) 全国:体力・運動能力調査

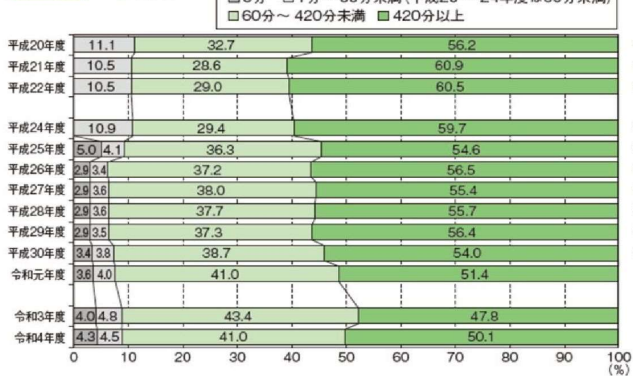
青森:体格、体力、ライフスタイル調査

(表9) 令和4年度 児童生徒の1週間の総運動時間

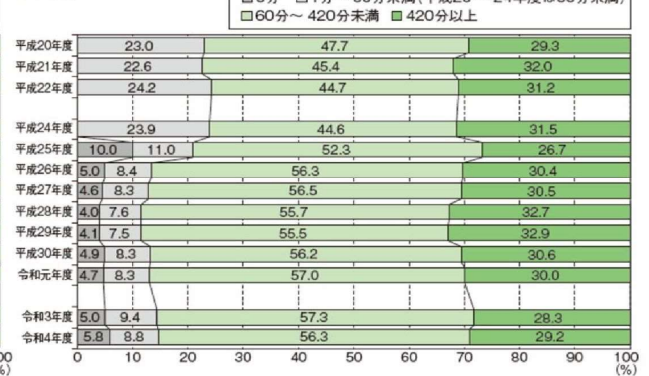
小学校5年生		体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか。																
		曜日ごとの運動実施(%)								曜日ごとの運動実施時間平均(分)								1週間の総運動時間(月～日)
		月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日		
男子	全国	79.9	80.0	81.1	79.7	79.6	82.8	78.7	95.7	56.72	59.02	64.96	60.13	60.21	133.44	129.14	558.04	
	青森県	84.7	85.4	83.7	84.7	84.9	84.6	79.3	96.4	65.33	72.63	70.26	70.31	74.93	113.43	104.31	568.02	
	差								0.7								9.98	
女子	全国	72.9	72.5	74.5	72.3	72.9	78.0	72.3	94.2	38.78	39.42	44.80	40.60	41.92	74.81	66.46	343.59	
	青森県	81.4	80.7	80.0	80.7	81.3	82.0	74.6	95.7	50.96	53.95	51.38	53.84	56.30	78.57	62.56	406.04	
	差								1.5								62.5	

中学校2年生		保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか。																
		曜日ごとの運動実施(%)								曜日ごとの運動実施時間平均(分)								1週間の総運動時間(月～日)
		月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日		
男子	全国	78.8	85.6	77.0	82.8	86.5	88.5	68.1	94.2	81.66	96.53	79.31	91.55	98.95	176.73	115.65	733.78	
	青森県	83.2	89.2	76.8	88.9	89.9	91.2	62.7	95.3	95.58	109.74	78.58	107.34	111.14	163.64	79.96	742.14	
	差								1.1								8.4	
女子	全国	68.5	74.3	66.1	71.8	75.6	79.0	54.8	87.7	62.66	73.20	58.14	69.36	76.58	123.66	60.47	519.43	
	青森県	70.4	76.6	63.3	76.1	77.5	81.5	51.2	88.0	69.01	83.05	57.01	80.09	85.29	125.09	44.75	540.47	
	差								0.3								21.0	

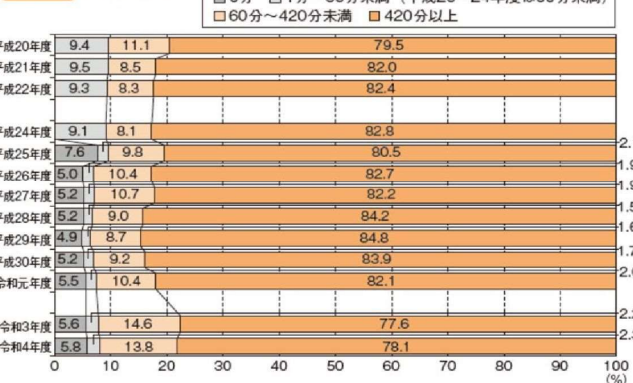
小学校 ● 男子



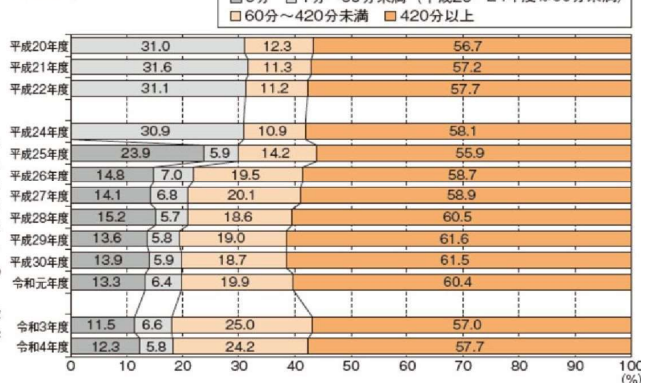
● 女子



中学校 ● 男子

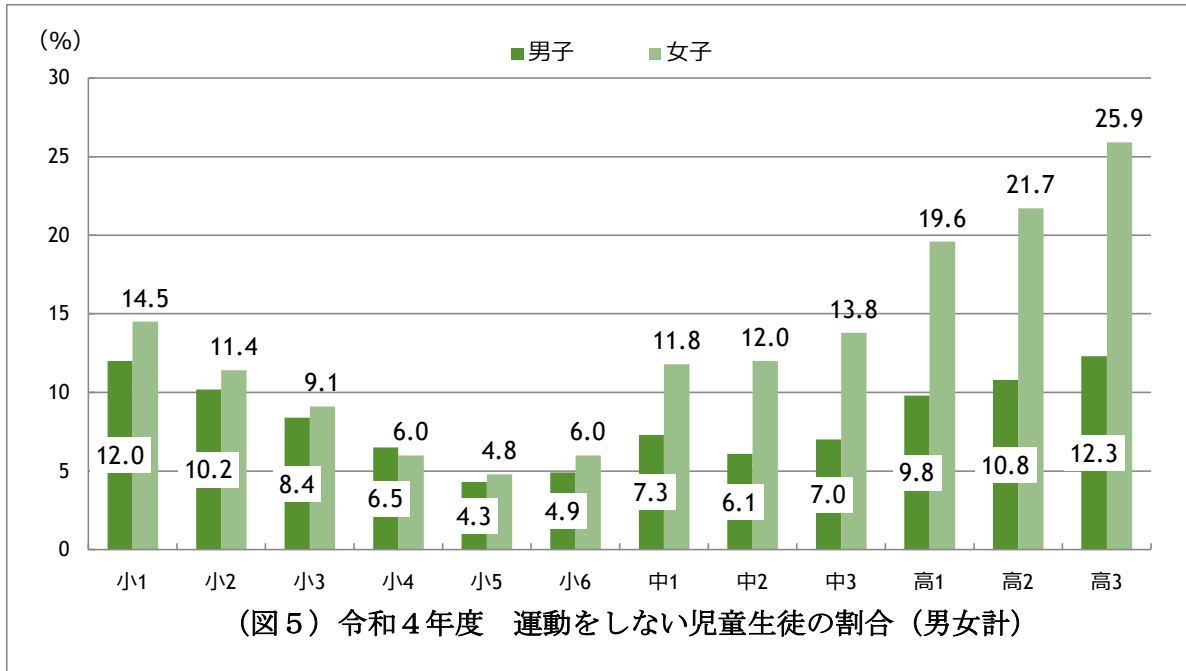


● 女子

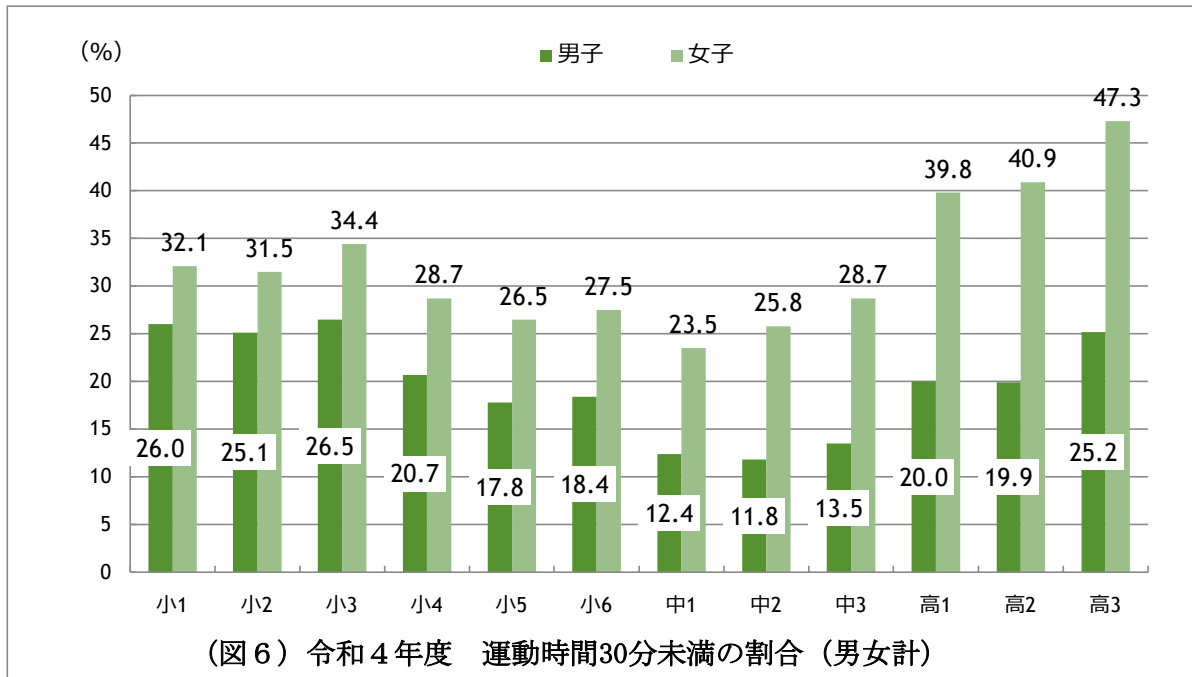


(図4) 令和4年度 児童生徒の1週間の総運動時間

(出典) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査



(出典) 体格、体力、ライフスタイル調査

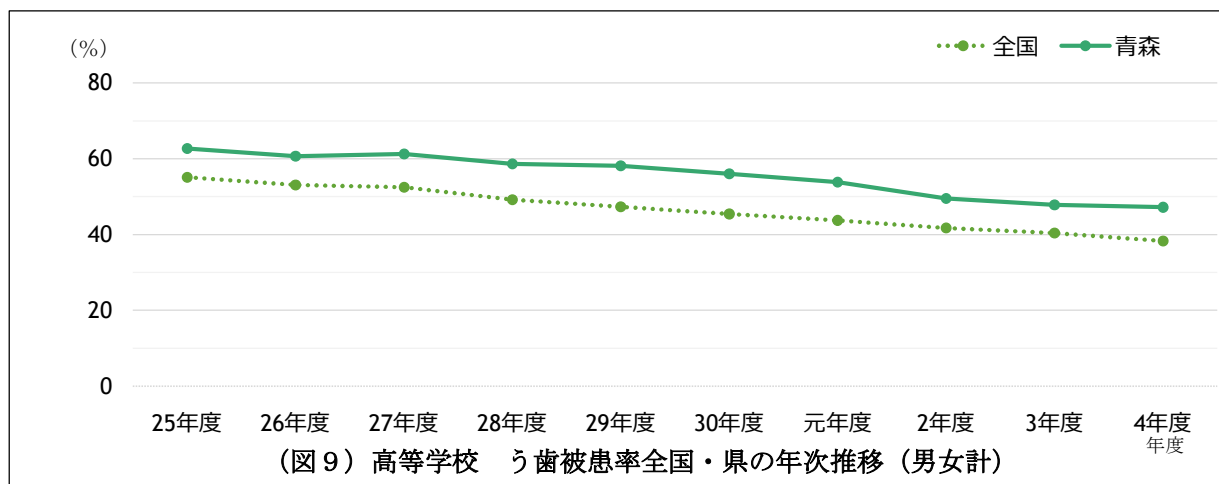
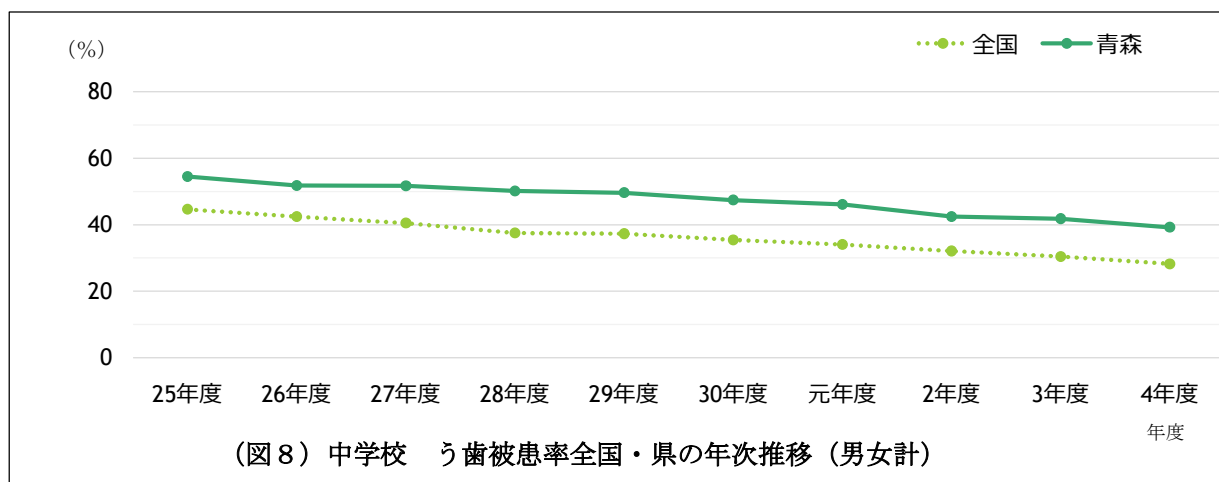
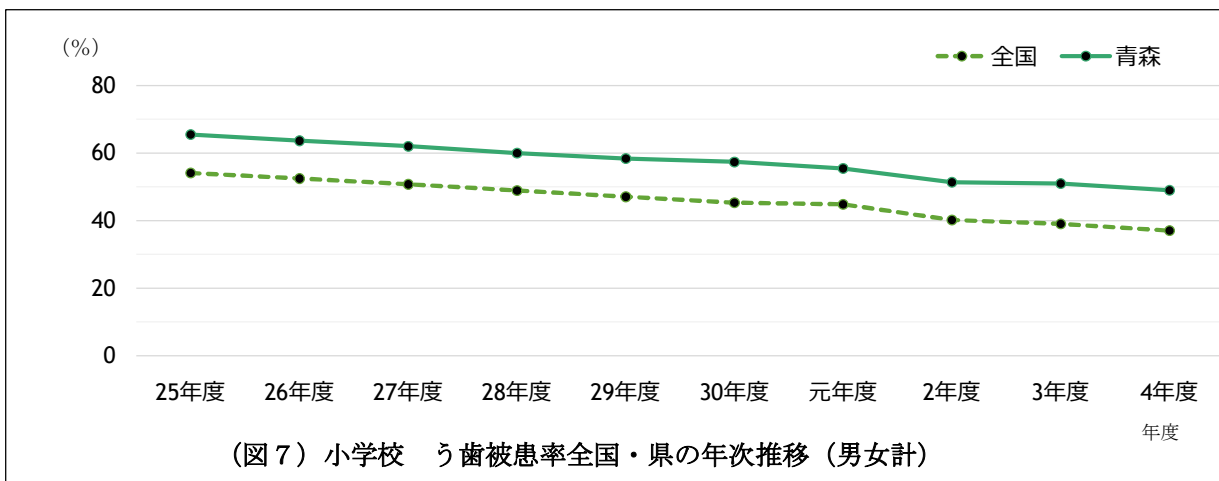


(出典) 体格、体力、ライフスタイル調査

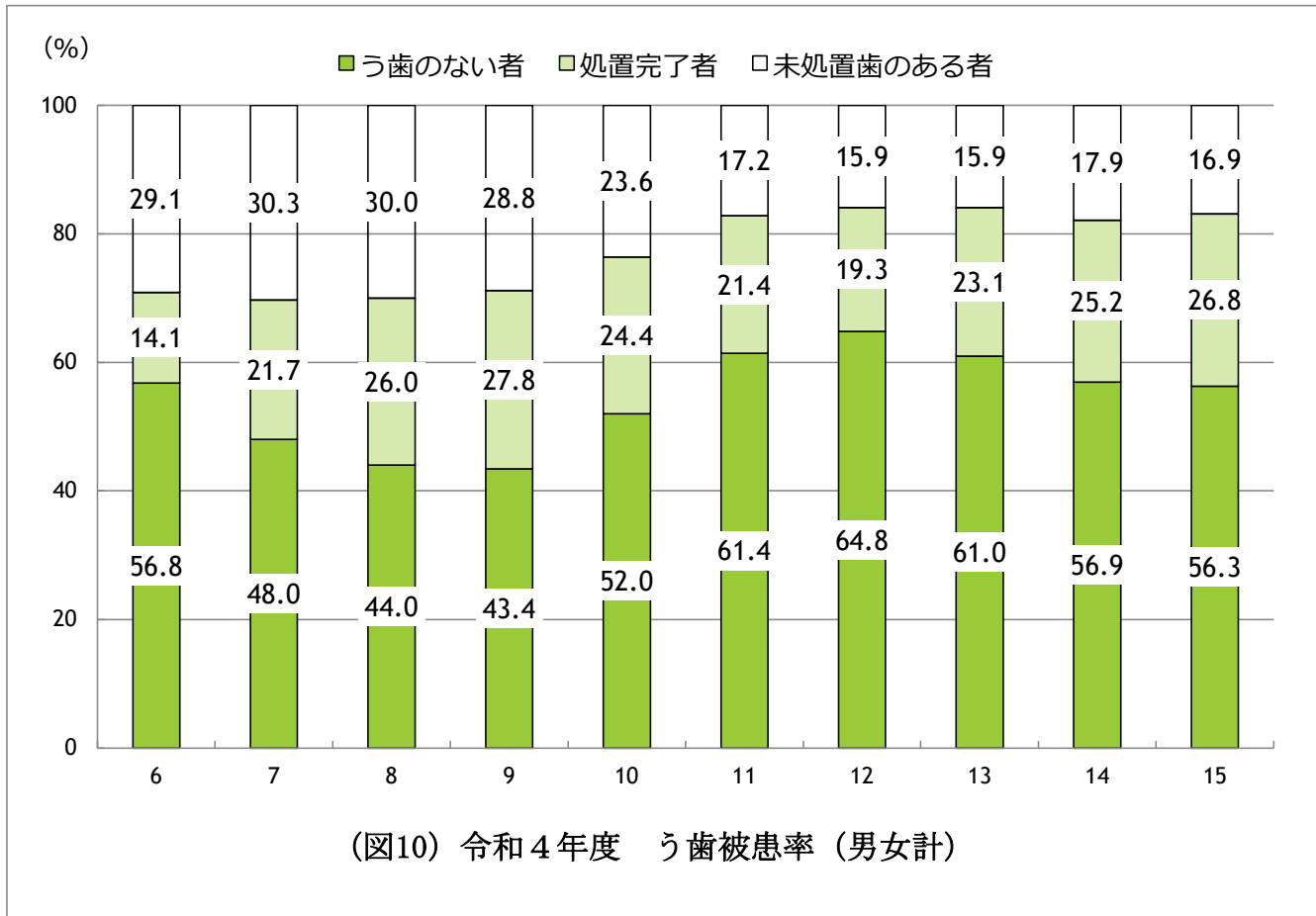
(表10) 校種別う歯被患率の年次推移(男女計)

(単位:%)

校種別	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	小学校	全国	54.1	52.5	50.8	48.9	47.1	45.3	44.8	40.2	39.0
	青森	65.5	63.7	62.0	60.0	58.4	57.4	55.5	51.4	51.0	49.0
中学校	全国	44.6	42.4	40.5	37.5	37.3	35.4	34.0	32.1	30.4	28.2
	青森	54.5	51.8	51.7	50.1	49.6	47.4	46.1	42.4	41.8	39.2
高等学校	全国	55.1	53.1	52.5	49.2	47.3	45.4	43.7	41.7	40.4	38.3
	青森	62.7	60.7	61.2	58.6	58.1	56.0	53.8	49.5	47.8	47.2



(出典) 全国: 学校保健統計調査
 青森: 青森県学校保健調査



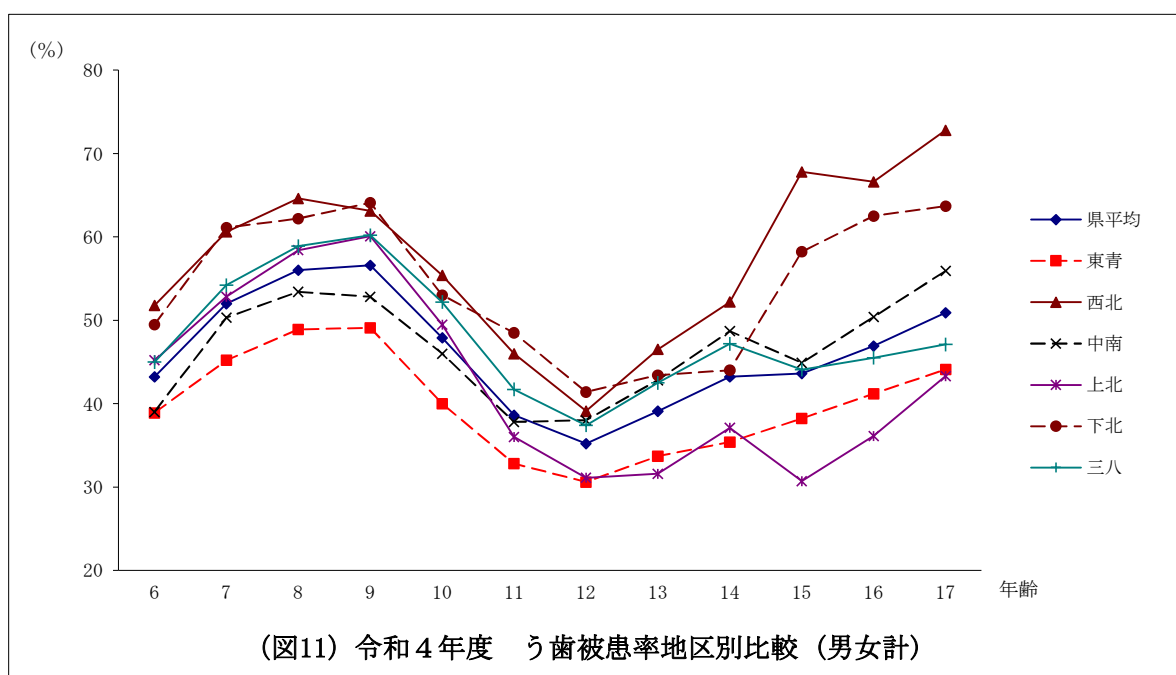
(出典) 青森県学校保健調査

(表11) 令和4年度 う歯被患率地区別比較 (男女計)

網掛けは県平均を上回った年齢層
(単位：%)

区分	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
県平均	43.2	52.0	56.0	56.6	47.9	38.6	35.2	39.1	43.2	43.6	46.9	50.9
東青	38.9	45.2	48.9	49.1	40.0	32.8	30.6	33.7	35.4	38.2	41.2	44.1
西北	51.8	60.6	64.6	63.1	55.4	46.0	39.1	46.5	52.2	67.8	66.6	72.8
中南	39.0	50.3	53.4	52.8	46.0	37.8	38.0	42.8	48.7	44.9	50.4	55.9
上北	45.2	52.8	58.4	60.1	49.5	36.0	31.1	31.6	37.1	30.7	36.1	43.3
下北	49.5	61.1	62.2	64.1	53.0	48.5	41.4	43.4	44.0	58.2	62.5	63.7
三八	45.0	54.2	58.9	60.2	52.2	41.7	37.4	42.5	47.2	44.1	45.5	47.1

(出典) 青森県学校保健調査



(図11) 令和4年度 う歯被患率地区別比較 (男女計)

(出典) 青森県学校保健調査

(表12) 12歳児永久歯の1人当たり平均う歯等数

(単位：本)

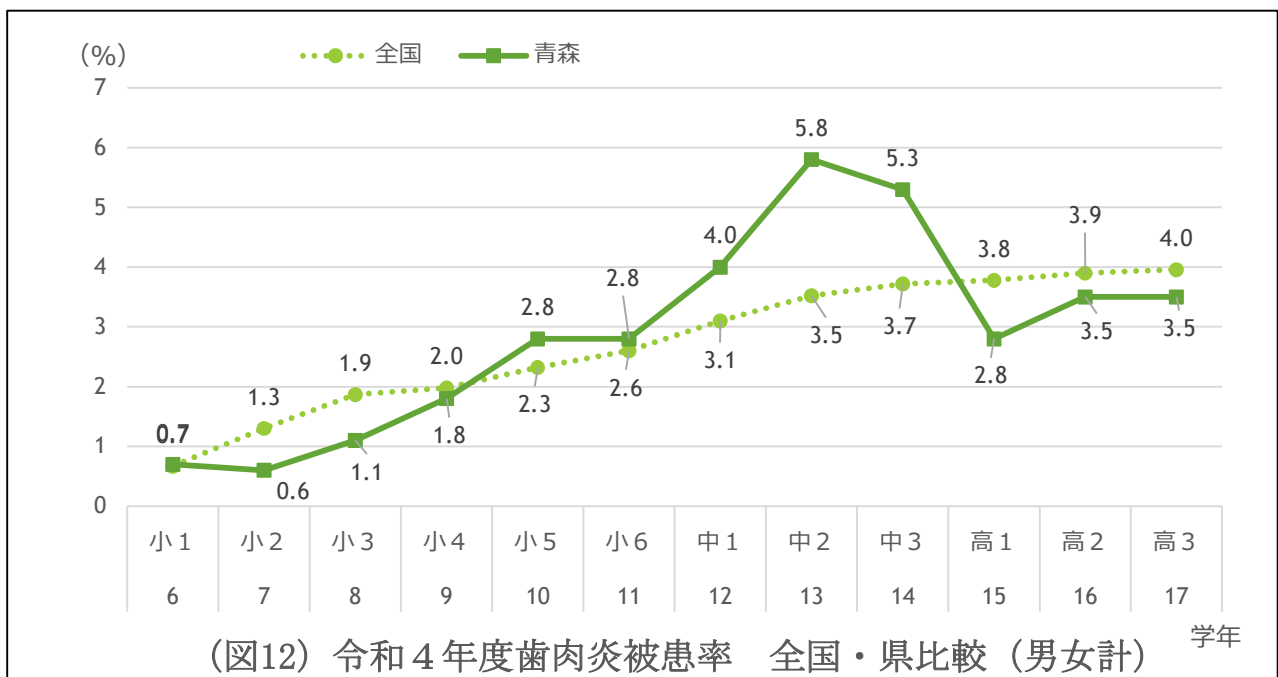
年度	区分	計	喪失歯数	う 歯		
				計	処置歯数	未処置歯数
全国	令和3年度	0.63	0.01	0.62	0.39	0.23
	令和4年度	0.56	0.01	0.55	0.35	0.20
本県	令和3年度	0.97	0.00	0.96	0.61	0.35
	令和4年度	0.87	0.00	0.87	0.54	0.32

(出典) 全国：学校保健統計調査
青森：青森県学校保健調査

(表13) 令和4年度 歯肉炎被患率 全国・県比較 (男女計)

(単位：%)

年齢	学年	全国	青森
6	小1	0.7	0.7
7	小2	1.3	0.6
8	小3	1.9	1.1
9	小4	2.0	1.8
10	小5	2.3	2.8
11	小6	2.6	2.8
12	中1	3.1	4.0
13	中2	3.5	5.8
14	中3	3.7	5.3
15	高1	3.8	2.8
16	高2	3.9	3.5
17	高3	4.0	3.5



(図12) 令和4年度歯肉炎被患率 全国・県比較 (男女計)

(出典) 全国：学校保健統計調査
青森：青森県学校保健調査

II 学校保健推進に関するデータ

(表14) 令和4年度食に関する指導の状況

1 小学校

	学校数	食に関する指導						
		指導計画			食育教材の活用		食に関連した体験学習	
		作成	保健計画 へ記載	未作成	有	無	実施	未実施
東青	49	48	1	0	39	10	49	0
西北	32	32	0	0	18	14	31	1
中南	51	50	1	0	37	14	49	2
上北	44	41	3	0	26	18	44	0
下北	17	17	0	0	10	7	17	0
三八	64	63	1	0	41	23	62	2
合計	257	251	6	0	171	86	252	5
割合		97.7%	2.3%	0%	66.5%	33.5%	98.1%	1.9%

2 中学校

	学校数	食に関する指導						
		指導計画			食育教材の活用		食に関連した体験学習	
		作成	保健計画 へ記載	未作成	有	無	実施	未実施
東青	26	26	0	0	14	12	21	5
西北	18	17	1	0	6	12	13	5
中南	26	26	0	0	8	18	23	3
上北 (県立会)	28	27	1	0	7	21	21	7
下北	13	13	0	0	6	7	12	1
三八	36	35	1	0	11	25	31	5
合計	147	144	3	0	52	95	121	26
割合		98.0%	2.0%	0%	35.4%	64.6%	82.3%	17.7%

3 全校種

	学校数	食に関する指導						
		指導計画			食育教材の活用		食に関連した体験学習	
		作成	保健計画 へ記載	未作成	有	無	有	無
小学校	257	251	6	0	171	86	252	5
		97.7%	2.3%	0%	66.5%	33.5%	98.1%	1.9%
中学校	147	144	3	0	52	95	121	26
		98.0%	2.0%	0%	35.4%	64.6%	82.3%	17.7%
高校	66	15	37	9				
		22.7%	56.1%	13.6%				
特別支援	20	16	2	2	7	13	17	3
		80.0%	10.0%	10.0%	35.0%	65.0%	85.0%	15.0%

(出典) 学校体育、健康・安全教育等に関する調査

(表15) 令和4年度「薬物乱用防止教室」都道府県別開催率（公立学校分）

(%)

	都道府県・指定都市名	小学校段階	中学校段階	高等学校段階	合計
1	北海道	60.6	100.0	100.0	79.1
2	青森県	49.0	85.7	100.0	66.4
3	岩手県	91.6	95.9	96.8	93.5
4	宮城県	88.2	86.2	95.4	88.7
5	秋田県	49.4	88.0	97.7	68.6
6	山形県	70.7	83.2	100.0	77.5
7	福島県	59.7	92.9	74.0	71.6
8	茨城県	90.4	95.1	97.9	92.7
9	栃木県	86.1	94.8	91.4	89.1
10	群馬県	67.0	87.3	84.8	75.3
11	埼玉県	100.0	100.0	100.0	100.0
12	千葉県	56.9	65.2	76.6	61.6
13	東京都	97.1	97.6	89.8	96.6
14	神奈川県	53.2	81.1	92.0	69.3
15	新潟県	69.3	87.9	91.1	77.7
16	富山県	56.5	73.7	97.1	65.9
17	石川県	99.0	100.0	100.0	99.4
18	福井県	58.7	87.8	91.7	69.1
19	山梨県	30.7	46.8	81.5	40.4
20	長野県	66.9	84.3	78.2	73.6
21	岐阜県	90.6	100.0	100.0	94.3
22	静岡県	99.4	98.8	100.0	99.3
23	愛知県	66.4	88.1	91.8	75.3
24	三重県	81.5	100.0	100.0	88.4
25	滋賀県	62.7	71.4	77.3	66.9
26	京都府	100.0	100.0	100.0	100.0
27	大阪府	93.8	93.8	100.0	94.8
28	兵庫県	51.8	77.0	99.3	65.1
29	奈良県	57.1	71.6	90.9	65.1
30	和歌山県	64.2	82.9	83.9	71.7
31	鳥取県	66.9	80.4	90.9	73.4
32	島根県	48.2	82.6	75.0	60.9
33	岡山県	66.3	89.6	91.1	75.2
34	広島県	88.4	90.1	87.8	88.8
35	山口県	99.3	100.0	100.0	99.6
36	徳島県	100.0	100.0	96.4	99.6
37	香川県	24.7	64.1	96.7	43.9
38	愛媛県	69.6	91.4	87.2	77.8
39	高知県	51.1	88.7	84.8	66.1
40	福岡県	99.8	100.0	100.0	99.9
41	佐賀県	99.4	100.0	100.0	99.7
42	長崎県	94.1	100.0	100.0	96.6
43	熊本県	100.0	99.2	100.0	99.8
44	大分県	45.6	78.3	81.6	58.6
45	宮崎県	51.1	87.3	88.6	66.2
46	鹿児島県	88.0	97.7	91.2	90.9
47	沖縄県	79.7	78.4	94.8	81.2

(出典) 令和4年度における薬物乱用防止教室開催状況調査

(表16) 不登校児童生徒数

(1) 小学校・中学校

青森県公立	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比
	区分					
	小・中学校		1,473	1,878	2,226	+348
	1,000人当たり		17.5	22.7	27.4	+4.7
内訳	小学校		357	495	610	+115
		1,000人当たり	6.5	9.2	11.5	+2.3
	中学校		1,116	1,383	1,616	+233
		1,000人当たり	38.2	47.8	57.6	+9.8
全国国公立	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比
	区分					
	小・中学校		196,127	244,940	299,048	+54108
	1,000人当たり		20.5	25.7	31.7	+6.0
内訳	小学校		63,350	81,498	105,112	+23614
		1,000人当たり	10.0	13.0	17.0	+4.0
	中学校		132,777	163,442	193,936	+30494
		1,000人当たり	40.9	50.0	59.8	+9.8

(2) 高等学校

青森県公立	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比
	区分					
	高等学校(全日制・定時制)		167	215	204	-11
	1,000人当たり		6.9	10.1	9.6	-0.5
全国国公立	年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比
	区分					
	高等学校(全日制・定時制)		43051	50,985	60,575	9,590
	1,000人当たり		13.9	16.9	20.4	+3.5

【参考】長期欠席者及び不登校の基準(文部科学省が示しているもの)

令和2年度調査以降が、当該年度の3月31日現在の在学者のうち、「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄及び「出席停止・忌引き等の日数」欄の合計の日数により、当該年度間に30日以上登校しなかった(連続したものであるか否かを問わない)児童生徒数を長期欠席者とし、そのうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者(ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルスの感染回避」によるものを除く。)の数を不登校児童生徒数としている。

(出典) 文部科学省 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

(表17) 令和4年度 学校管理下における場合別災害発生状況 (青森県)

単位:件

	学校種	小学校	中学校	高等学校
	加入者数(除要保)	53,880	29,094	30,724
各教科等	体育(保健体育)	539	622	325
	図画工作(美術)	18	2	-
	理科	10	14	1
	家庭(技術・家庭)	9	9	-
	農業	-	-	0
	工業	-	-	3
	道徳	0	0	-
	外国語活動	0	-	-
	総合的な学習の時間	11	4	1
	自立活動	0	0	0
	その他の教科	36	5	22
	保育	-	-	-
	計	623	656	352
特別活動 (除学校行事)	学級(ホームルーム)活動	38	12	3
	給食指導	27	5	0
	日常の清掃	34	25	1
	その他学級活動	7	4	1
	児童(生徒・学生)会活動	6	1	1
	体育的クラブ活動	16	-	-
	文化的クラブ活動	1	-	-
	その他	15	8	6
計	144	55	12	
学校行事	朝会	1	2	0
	その他儀式的行事	2	1	0
	文化的行事	0	4	3
	大掃除	2	0	0
	運動会・体育祭	15	36	23
	競技大会・球技大会	2	22	39
	その他健康安全・体育的行事	18	16	7
	遠足	5	2	4
	修学旅行	10	5	11
	その他集団宿泊的行事	7	1	0
	勤労生産・奉仕的行事	1	2	0
	その他	8	9	1
計	71	100	88	
課外指導	体育的部活動	40	1012	1134
	文化的部活動	2	5	10
	林間学校	0	0	0
	臨海学校	0	0	0
	水泳指導	0	0	-
	その他	10	8	0
計	52	1025	1144	
休憩時間	休憩時間中	376	77	20
	昼食時休憩時間中	328	81	10
	始業前の特定時間中	74	15	13
	授業終了後の特定時間中	67	30	19
	その他	9	4	2
計	854	207	64	
	寄宿舎にあるとき	0	0	5
	技能連携授業中	-	-	0
通学中 (通園中)	登校(登園)中	53	38	46
	下校(降園)中	79	46	25
	通学(通園)に準ずるとき	2	3	4
	計	134	87	75
合計	1878	2130	1740	

(出典) 独立行政法人日本スポーツ振興センター資料

Ⅲ 青森県学校保健推進計画に係るデータの出典

アウトプット（対策）・アウトカム（指標）

（1）学校保健推進体制の確立

アウトプット（対策）	項目
1	学校保健委員会の開催率
2	食の指導に関する全体計画作成率
3	アレルギー疾患に対応する体制の構築率
4	（地域）学校安全委員会の開催率

（2）望ましい生活習慣定着の推進

①体格・栄養・食生活・休養	
アウトプット（対策）	項目
5	生活習慣に関する指導の実施率
6	食に関する指導の実施率
7	がん教育の実施率
アウトカム（指標）	項目
1	肥満傾向児出現率（肥満度20%以上のもの）の減少
2	痩身傾向児出現率（肥満度-20%以下のもの）の減少
3	朝食を毎日食べる児童生徒の割合の増加
4	睡眠時間が6時間未満の者の割合の減少
5	裸眼視力が1.0未満の者の割合の減少
6	がん及びがん患者への理解度の向上

②身体活動・運動

アウトプット（対策）	項目
8	児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標の設定率
アウトカム（指標）	項目
7	1週間の運動時間が60分未満の者の割合の減少

③喫煙・飲酒・薬物乱用防止

アウトプット（対策）	項目
9	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施率
アウトカム（指標）	項目
8	禁止薬物や薬物乱用による健康被害の理解度の向上

④歯科保健

アウトプット（対策）	項目
10	歯・口の健康づくりに関する指導の実施率
アウトカム（指標）	項目
9	永久歯の一人当たり平均う歯等数の減少
10	う歯被患率の減少
11	歯肉炎被患率の減少

（3）性に関する指導の推進

アウトプット（対策）	項目
11	性に関する指導の実施率
アウトカム（指標）	項目
12	エイズに関する知識調査の正答率の向上
13	性感染症に関する知識調査の正答率の向上

（4）心の健康問題への対応の推進

アウトプット（対策）	項目
12	心の健康教育の実施率
アウトカム（指標）	項目
14	自分には、よいところがあると思う児童生徒の割合の増
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い児童

（5）学校管理下での負傷・疾病対応の推進

アウトプット（対策）	項目
13	アレルギー疾患に関する研修会の実施率
14	AEDを使用した心肺蘇生実技講習の実施率
アウトカム（指標）	項目
16	学校管理下における負傷の発生率の減少
17	熱中症事故の件数の減少

データの出典

学校体育、健康・安全教育等に関する調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
学校体育、健康・安全教育等に関する調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
学校におけるがん教育の開催状況（文部科学省）
青森県学校保健調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
体格、体力、ライフスタイル調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
青森県学校保健調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
がん教育に関するアンケート（青森県教育庁スポーツ健康課）
体格、体力、ライフスタイル調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）
学校における薬物乱用防止教室の開催状況（文部科学省）
薬物乱用に関するアンケート（青森県教育庁スポーツ健康課）
学校体育、健康・安全教育等に関する調査（県教育庁スポーツ健康課）
青森県学校保健調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
学校体育、健康・安全教育等に関する調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
青森県内高校生のエイズ・性感染症に対する意識調査（青森県健康福祉部）
学校体育、健康・安全教育等に関する調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
全国学力・学習状況調査（文部科学省）
学校体育、健康・安全教育等に関する調査（青森県教育庁スポーツ健康課）
災害共済給付データ（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

参考 青森県学校保健推進計画に係るデータの出典（一覧）

【資料編】

調査名	調査方法・対象	実施主体	表	図
学校保健統計調査	抽出	文部科学省	1、3、4、5、10、12、13	1、2、3、7、8、9、12
青森県学校保健調査	県内児童生徒 悉皆	青森県教育庁スポーツ健康課	1、2、3、4、5、10、11、12、13	1、2、3、7、8、9、10、11、12
全国体力・運動能力、運動習慣等調査	小学校及び特別支援学校の小学部の5年生 悉皆 中学校及び特別支援学校の中 学部2年生 悉皆	スポーツ庁	7、8、9	4
体格、体力、ライフスタイル調査	県内公立学校児童生徒 悉皆	青森県教育庁スポーツ健康課	6、7、8	5、6
学校体育、健康・安全教育等に関する調査	県内公立学校 悉皆	青森県教育庁スポーツ健康課	14	
令和4年度における薬物乱用防止教室開催状況調査	県内公立学校 悉皆	文部科学省	15	
令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査		文部科学省	16	
災害共済給付データ		独立行政法人日本スポーツ振興センター	17	

青森県学校保健推進計画
(第4次)

発行月 2024年4月
発行 青森県教育委員会
編集 青森県教育庁スポーツ健康課
TEL 017-734-9908